



広報

かつやま

Katsuyama City Newsletter

7月号
No.586

平成16年7月8日発行

御下出道場（北郷町伊知地）

地元では「下道場」あるいは「仲谷道場」と呼ばれる浄土真宗本願寺派の道場。家伝によれば蓮如上人北陸下向（宝徳元年）の折、上人に帰依、真宗に転宗したという。当時上人が藤の木に掛け、朝夕称名された「藤掛の名号」を今に伝える。移転前の建築期は不明だが根継ぎされ古色蒼然とした柱や叡山根本中堂を思わせる内陣の様式からは、かつて天台宗安泰寺を号した頃の面影すら偲ばれる。

CONTENTS

- 勝山市第4次保健計画
- アクションプラン21
- HOT話題
- 出会い ふれあい

風雪に耐え、時を超える

勝山市第4次保健計画(勝山市の健康づくりのための計画)を ただいま策定中!



みんなでつくりろう“健康勝山”

少子・高齢化に対応した人にやさしいまちづくりをめざすため、市では第4次勝山市保健計画(勝山市の健康づくりのための計画)の策定に向けた準備をすすめています。計画は、勝山市の保健施策に関する基本目標を設定し、それにもとづく具体的な事業に関する計画を定めるものです。計画年次は、平成17年度から21年度までの5か年です。

市民のみなさんが健康でいきいきと暮らるために、今どのようない取り組みが必要かを一人ひとりが考え、実践することが大切です。市民から公募した「健康づくり応援隊」が各地区を訪問し、広く健康づくりに関する意識の啓発を図っています。

第4次保健計画のポイント

その1 ──問題点をみつけて、何が必要かを考える

それぞれの世代ごとに、健康に関するさまざまな問題点があります。

子ども

からだの問題 肥満、虫歯、感染症、体力低下

こころの問題 虐待、いじめ、子育ての不安

生活面の問題 食生活、生活リズムの乱れ

おとな

からだの問題 脳卒中などの生活習慣病の増加、歯周疾患

こころの問題 ストレス、精神疾患、健康への不安

○適度な運動

その2 ──“健康勝山”的市民将来像は?

子どもたちがすこやかにのびのびと育ち、若者や働き盛りの人たちが健健康を意識し、生活習慣病を防ぎ、高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちをめざしていきます。そのためには、市民のみなさん一人ひとりの健康への取り組みが必要です。

○健康診査の受診

○食生活への気配り(減塩、栄養バランス、適量)

○適度な運動

その3 ──市が取り組むべき課題

市民のみなさんが、より健康的な生活が送れるよう、市のサポート体制をさらに充実していきます。

○福祉健康いきいきセンター(仮称)での積極的な健康増進事業の実施

○各種相談窓口の充実

○職域と連携した団塊の世代の健康づ

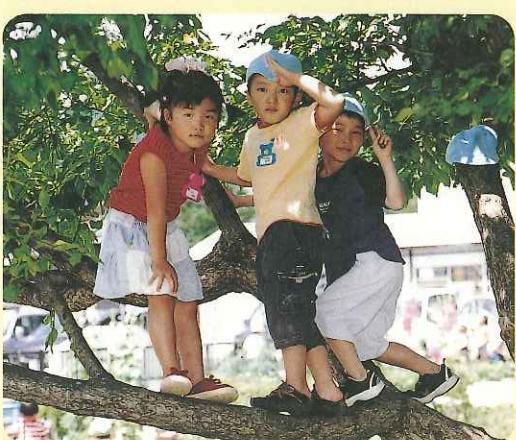
生活面の問題 運動不足、睡眠不足、飲酒、喫煙
その他 団塊の世代(昭和22~24年生まれ)の健康管理
高齢者

からだの問題 要介護者の増加、糖尿病、結核

こころの問題 健康への不安

生活面の問題 独居・高齢者世帯の増加

現在、これらの問題点が日常的に存在していることを踏まえ、今後どのように改善していくべきかを考えることが必要になっています。



みんながすこやかに暮らせるまちをめざします

“健康づくり応援隊”が、各地区で活躍中!



私たちも計画づくりを応援しています!

参加者の声

森本陽子さん（野向町深谷）

保健計画の策定や健康福祉センターが私たちの健康に役立つことを期待しています。

個人的には、夫が自分の食生活や健康管理に無関心なので悩んでいます。福祉健康いきいきセンターの調理室では「男のための健康料理教室」を企画して欲しいですね。

心配しすぎのような気もしますが、同じ悩みを持っている女性は多いのではないか。

意見交換会の今後の日程（7月20日～）

7月20日(火)	PM7:00～	村岡公民館
7月21日(水)		遅羽公民館
7月26日(月)		鹿谷公民館

問 健康長寿課（内線514・515）

市では平成16年度中の計画策定に向けて、6月から市内各地区で計画についての意見交換会を開催しています。

そのなかで、市民公募の「健康づくり応援隊」のみなさん15名は、手づくりの寸劇の上演や意見交換に加わるなど、市民のみなさんへの健康づくりに関する意識啓発にご活躍されています。

健康づくり応援隊のみなさんは次のとおりです。（敬称略）

前川昌一郎・山口信子（旭町）、斎藤尚子（旭毛屋町）、木下雅代・久保十止子・森下良夫（昭和町）、松村純子（北郷町）、村田明子（荒土町）、久保陽子（野向町）、中山りか（長山町）、山口総子・山中勲（郡町）、伊藤陽子・西川鈴子・清水智子（鹿谷町）

考える

地区別の意見交換会では、健康づくり応援隊による「あなたの未来（20年後）はどちら？」と題した手づくりの「寸劇」が披露され、参加者は健康づくりの大切さを楽しくわかりやすい方法で学んでいます。

また、市の担当者からの健康保健に関する現状やこれらの課題などを説明を踏まえた意見交換が行われ、毎回活発な意見が出されています。



野向公民館で寸劇を演じる健康づくり応援隊

応援隊の声



山口総子さん
(郡町1丁目)

「今日の寸劇は『地』でいけました」という健康づくり応援隊の山口さんは、「健康パワーをみんなに分けてあげたい！」と元気いっぱいです。

ウォーキング事業にも積極的に参加され、「毎日歩いているおかげでストレスもないし、友だちもふえました」と健康づくりの楽しさを笑顔でお話いただきました。

教育に関心を!! 今こそ行動を… 子どもの将来は勝山の未来!

第3回教育シンポジウム アクションプラン21

「地域の中で子どもを生かし、正す」ために家庭、地域、学校の連携で進めている「第3回教育シンポジウム 教育改革アクションプラン21」が6月5日に成器西小学校で開催されました。

「わがまちに子どもは残るのか?」をテーマに子どもたちが将来残りなくなるようなまちづくりや次世代育成について参加者が意見を交わしました。

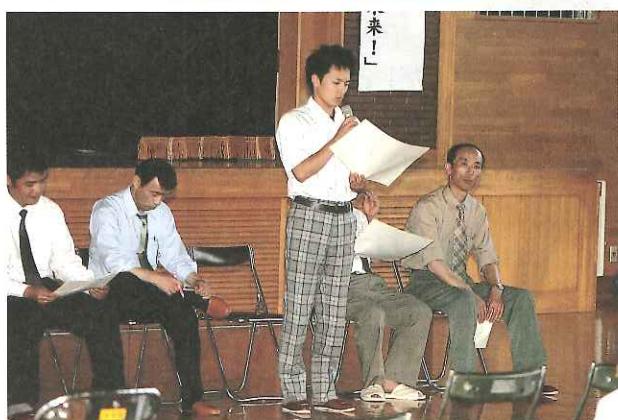
約200人の市民が参加したパネルディスカッションでは市と相互協力協定を結んでいる福井工業大学の内田勝夫講師、山岸市長など6人がパネリストとして意見を述べました。

山岸市長は「無理に子どもを勝山に残すこと目的とするわけではない。子どもたちが、さまざまな世界を体験して、いずれ勝山に帰ってきくなる。そんなまちづくりをめざしていきたい」と基本的な考え方を述べました。

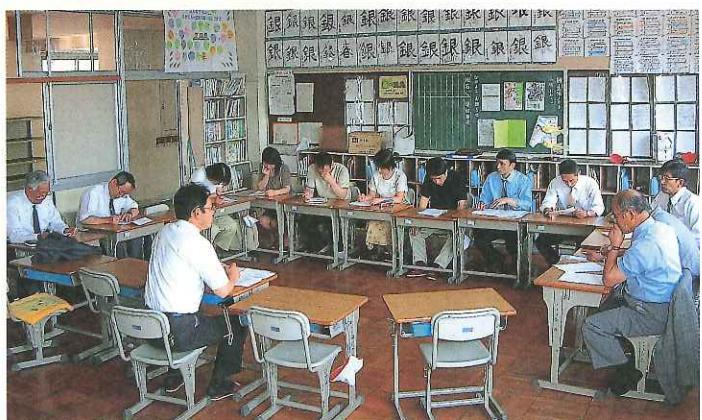
地区ごとに開催した分科会では「これからのかわまち子育て支援」のあり方を考える!」をテーマに次世代を担う子どもたちの育成に向け活発な議論が繰りひろげられました。



パネルディスカッションで意見を述べる山岸教育長



全体会の場で分科会報告をする委員



分科会（次世代アクションプラン推進委員会）の模様

○北郷地区

昨年度、地域の次世代育成を支援するため実施した小学生の宿泊学習が好評でした。今後も地域で自主的に事業を継続していきたいと考えています。

○遼羽地区

新しい事業にこだわり、継続して実施している地域独自の事業を充実させていきます。

新しく建設された児童館を活用して、子どもと大人が地域とふれあう場を提供していきます。

○村岡地区

中学生・高校生の一ーーズを調査して、イベントの企画立案の段階から子どもたちの参加を求めていきます。また、子どもたちと壮年層、高齢者との世代間交流を図っていきます。

○平泉寺地区

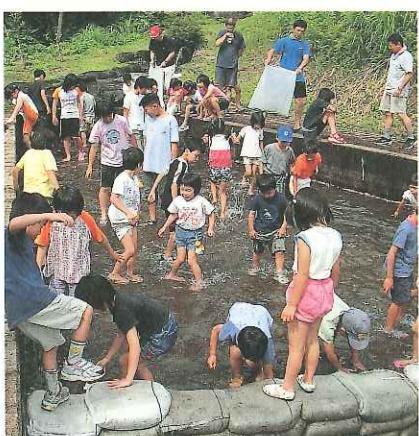
昔は、地域住民が声をかけあつていて、子どもたちも自然にあいさつをしていました。今一度、地域ぐるみであいさつ運動を展開していきます。

○鹿谷地区

中学校と地域とのつながりを今後の課題としていきます。また、PTAの行事と地域の行事との日程を調整して、相互に参加できるよう連携していきます。

○勝山地区

推進委員会では、二つの学校区の自ら性を尊重しながら、運動会や文化祭に協同して参加できる方法を検討しています。



○荒土地区

子どもたちの思い出に残るような地域のプログラムを推進していきます。

また、次世代を担う子どもたちに負担がかからないよう注意して地域全体で子どもを育てていきます。

○野向地区

中学生と大人が意見交換できる場をつくり、地域で役に立ち、必要とされる喜びを子どもたちに感じさせていきます。

子どもたちに夏まつりや遊歩道の整備への参加を呼びかけていきます。

○猪野瀬地区

次世代を担っていく子どもが夢をもつには、まず今の社会を担う親自身が夢をもつ必要があります。小中学生の活動を一本化し、この推進委員会を継続的な組織に育てていきます。

市では次世代育成についてのさまざまなおプログラムをスタートしてします。

すでに計画されているものだけでも「次世代育成支援対策推進委員会」、「学校評議会」、「福井型「ミユーニティスクール委員会」、「地域子ども教室実行委員会」、「豊かな体験活動支援委員会」などがあります。

これらのプログラムは「地域」を主体にして地域のみなさんが中心となつて推進していくものがほとんどです。

そこで、勝山市では地域ごとに社会教育委員、補導委員、民生児童委員などを中心に社会教育団体や学校関係者の参加を得た「次世代アクションプラン推進委員会」を、地域の次世代育成の核として事業に取り組んでいきたいと考えています。

すでに各地区に同委員会が設置され、今回のシンボジウムでも分科会の中心となつて地域での次世代育成について熱い議論が交わされました。私たち、この次世代アクションプラン推進委員会を活用して次世代育成に向けた市独自のプログラムを継続的・自主的に実施していきます。

6月定例市議会

関西学院大学との 交流事業費を含む 6月補正など可決

Web



6月定例市議会が6月7日から23日までの日程で開催されました。

山岸市長は招集のあいさつで、福井工業大学との相互協力協定について「産業創出の支援、伝統的な建築物調査・町並み保存研究、電子自治体に向けた共同研究、大学生のインター・シップなど、長期的な視野に立って具体的に取り組み、産学官の成果を出して勝山市の新たな力にしていきたい」と意欲をみせていました。

定例会で決まった内容は次のとおりです。

議員報酬費 △362万一千円
議員活動費（政務調査費交付金） △240万円

大野・勝山地区広域行政事務組合負担金 △9605万4千円
ふれあい市民事業費（ふるさとネッサンス基金積立金）
116万5千円

現年発生林道災害復旧事業費 2816万8千円
道路維持管理費（元禄線物件移転補償工事） 1238万6千円
財政調整基金積立金 1億270万5千円

決まった内容

予算

一般会計は4784万3千円増額し124億4396万7千円としました。

特別会計、企業会計の補正はありません。

補正の主な内容は次のとおりです。

処分の承認を求めるについて
平成16年度 勝山市一般会計補正予算（第1号）に関する専決処分の承認を求めるについて
平成16年度 勝山市老人保健特別会計補正予算（第1号）に関する専決処分の承認を求めるについて

条例制定等

勝山市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正について
勝山市税条例の一部改正について
勝山市道路線の認定について
勝山市道路線の変更について

損害賠償の額を定めることについて
勝山市公共下水道根幹的施設の増設工事委託に関する基本協定の締結について

勝山市公共下水道根幹的施設の改築工事委託に関する基本協定の締結について
勝山市温泉センター「水芭蕉」の設置及び管理に関する条例の一部改正について
勝山市ふれあい会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
勝山市税条例の一部改正に関する専決処分の承認を求めるについて

勝山市固定資産評価員の選任について
勝山市旭毛屋町4807番地
山田 誠一

委員の選任

えちぜん鉄道株主総会後の取締役会において、山岸正裕市長が社長を退任し、代表権のない会長に就任することが決まりました。
後任には、同社前代表取締役専務の見奈美徹氏（58）が選任されました。

えちぜん鉄道 山岸正裕市長が 社長を退任

陳情

道路拡工事に関する陳情書
食料・農業・農村政策に関する陳情
カラス・イノシシ等の鳥獣害対策について
道路拡工事に関する陳情書
食料・農業・農村政策に関する陳情
カラス・イノシシ等の鳥獣害対策について

農業用排水路の普通河川への格上げについて（継続審査事件）
「中山間地域等直接支払制度」の存続と拡充を求める意見書について
「緊急地域雇用創出特別基金事業」の存続を求める意見書について
地方分権を確立するための真の三位一体改革の実現を求める意見書について

9月1日で勝山市は

“満50歳”

!!

市制50周年記念事業

集まれパフォーマー！
放課後テレビ公開録画

6月11日に市民会館大ホールでNHKBS
「集まれパフォーマー！ 放課後テレビ」
の公開録画が行われました。

市内の小中学生2400人からよりすぐ
られた10組31人の「パフォーマー」たちを
お目当てに、530人の市民のみなさんが
集まりました。

観客は、舞台の上で繰り広げられるパフ
オーマンスによるコントや特技に大喜び、
あつという間の2時間でした。

なお、テレビでの放送はNHK BS2で
7月24日（土）午後6時からの予定です。



シアター勝山は会員制の組織です
が、今回の記念講演は、市制50周年
「市民企画記念事業」の一事業として、
一般市民に開放して開催されました。
集まった約220人の市民のみなさ
んはマリオネットによるポルトガルギ
ターの音色と日色さんの語るマルヘン
や「アンネの日記」の世界に聞き入っ
ていました。



出演者を囲むボランティアで参加された高校生のみなさん

市制50周年「市民企画記念事業」

6月28日に市民会館大ホールで
シアター勝山10周年記念講演「日
色ともゑとマリオネット」が開催
されました。

日色ともゑと
マリオネット

主な市制50周年
記念事業の
今後の予定

「なんでも鑑定団
出張鑑定大会in勝山」

テレビでおなじみの「なんでも鑑

定団」が勝山市にやってきます。

公開録画は11月14日の予定ですが、
観覧方法等については後日、市広報

（？）をお持ちのかたはぜひお問合
せください。

でお知らせします。

また、みんなの家に眠るお宝を
大募集していますので、秘蔵のお宝
（？）をお持ちのかたはぜひお問合
せください。

問 未来創造課（内線2234）

「市民企画記念事業」

● 越前禅定道修驗者マラソン

（7月31日・8月1日）
勝山市の手話30周年記念事業

（8月28日）

● 目指せオリンピック !!

（8月25日）
ジユニア育成スクール

● 勝山市連合婦人会50周年記念大会
（11月21日）

● 勝山エコミコージアムによる
地域間交流
（2月頃）

問 未来創造課（内線2234）

正しく納めましょう

国民健康保険税

国保に加入している人は、給付を受ける「権利」があると同時に、保険税を納める「義務」もあります。



■保険税の納め方

保険税額は世帯ごとにまとめて計算し、毎年7月に納付書を送らせていただきますので、最寄りの金融機関（郵便局は除く）で納付期限までにお支払いください。なお、納税組合に加入している世帯については、各納税組合長宛に納付書を送らせていただきます。

また、“うっかり”保険税を納め忘れてしまわいために『簡単で便利な口座振替』があります。口座振替をご利用いただくと、わざわざ納めに行く手間が省け、手続きも簡単、納付期限も気にしなくてすみます。お申し込みは勝山市内のご希望の金融機関（郵便局を含む）まで。

●平成16年度国民健康保険税の納付期限

	1期(全納)	2期	3期	4期
納期	8/2(月)	9/30(木)	11/30(火)	1/31(月)

国民健康保険税の税率がかわりました。

※40歳以上65歳未満の人は、介護保険の第2号被保険者となり、医療分と介護分がかかります。

65歳以上の人は、第1号被保険者となり、介護分は介護保険料として別々に納めます。

(単位：円)

	医療分			介護分			合計	
	H15	H16	差	H15	H16	差		
所得割	7.0%	6.0%	△1.0%	0.6%	1.0%	0.4%	△0.6%	国保加入者の所得の総額 (各種控除前の所得)
資産割	37%	30%	△7.0%	5.6%	6.0%	0.4%	△6.6%	国保加入者の固定資産税額 (土地・家屋)の総額
均等割	20,000	20,000	0	5,500	6,500	1,000	1,000	国保加入者数
平等割	25,000	20,000	△5,000	4,200	4,500	300	△4,700	一世帯

(単位：円)

例：基礎控除（33万円）

後の所得の合計が300万円、固定資産税10万円、夫（45歳）妻（40歳）、子ども2人の4人が国民健康保険に加入了した場合

	医療分			介護分			合計
	H15	H16	差	H15	H16	差	
所得割	210,000	180,000	△30,000	18,000	30,000	12,000	△18,000
資産割	37,000	30,000	△7,000	5,600	6,000	400	△6,600
均等割	80,000	80,000	0	11,000	13,000	2,000	2,000
平等割	25,000	20,000	△5,000	4,200	4,500	300	△4,700
計	352,000	310,000	△42,000	38,800	53,500	14,700	△27,300

納付が困難なときは

①納付が困難なときは、滞納のままにせずお早めに税務課徴収グループ（内線242）にご相談ください。

②災害、病気、失業、事業不振等により当該年度の所得が著しく減少した場合、一定の基準に該当し、なおかつ資産・能力等を活用しても生活が困難な場合は、保険税が減額されることもありますのでご相談ください。

国保年金だより

◎「老人医療受給者証」(白色)をお持ちの方へ
負担区分が変更になつた場合のみ、新証を7月下旬に郵送させていただきます。

◎「国民健康保険高齢受給者証」(茶色)をお持ちの方へ
有効期限が、平成16年7月31日となっています。新証は、7月下旬に郵送させていただきます。

◎「老人医療受給者証」(白色)をお持ちの方へ
一定以上所得者が前年度の課税所得(各種控除後)が年額124万円以上の70歳以上の人または老人保健対象者の70歳以上の人または老人保健対象者は、その世帯の該当者の年収が合計67万円未満(該当者が1人の世帯では年収450万円未満)の場合は、申請により1割負担となります。

高齢受給者証(国保)、老人医療受給者証をお持ちのかたへ

毎年8月1日で、前年度の所得に応じて負担区分の見直しを行います。

医療機関での一部負担金の割合は、一定以上所得者は2割で、その他のかたは1割となります。

(入院される予定のあるかたへ)

区分	入院時の食事代の標準負担額
一定以上所得者	780円
一般の被保険者	
市民税非課税世帯(低所得Ⅱ)※1	90日までの入院 650円 過去12か月で90日を超える入院 500円
市民税非課税世帯※2(低所得Ⅰ)	300円

※1 同一世帯の世帯主と国保被保険者が市民税非課税のかた。ただし、老人医療に該当する場合は、市民税非課税世帯に属するかた。

※2 市民税非課税世帯で、世帯員の所得が一定基準に満たないかた。

保険証
医療機関の領収書(入院中のかた)

市民税非課税世帯で、国民健康保険加入のかたおよび老人医療に該当するかたは、申請すれば入院中の食事代が減額申請をした月から減額されます。70歳以上および老人医療に該当するかたは、入院中の一部負担金についても減額されます。
なお、現在認定されているかたは、有効期限が7月31日までとなっています。引き続き入院されるかたは、更新の手続きを行ってください。

・必要なもの

平成16年8月末までに免除の申請を行い承認されれば、平成16年7月から平成17年6月分までの保険料が免除されます。

免除された期間の年金額は、老齢基礎年金を受けるための期間として計算されますが年金額は次のようにになります。

全額免除：保険料を全額納めた場合の3分の1

半額免除：保険料を全額納めた場合の3分の2

ただし、残りの半額分の保険料を納めた場合に限ります。

免除申請をされるかたは、8月31日(火)までに申請してください。

必要なもの：印鑑。失業した場合は離職票のコピー

国年金保険料の免除制度をご存知ですか

国年金は、20歳から60歳になるまでの40年間、保険料を納めることになっていますが、その間には、経済的な理由でどうしても保険料を納められなくなることもあります。このような場合本人の申請により承認されれば保険料の納付が免除される制度があります。これを「申請免除」といいます。

なお、保険料の免除をうけるためには、被保険者本人だけでなく、配偶者、世帯主それぞれの所得も対象となります。また前年所得を申告されていない方は、免除の該当になりません。

免除される期間は、申請のあった月の前月から翌年の6月までとなります。

年金加入記録の事前通知および年金見込額のお知らせについて

「年金加入記録のお知らせ」は、将来、年金請求手続きを行っていただくため、58歳になられた時点で、社会保険業務センターで管理している年金加入記録により、老齢基礎年金を受けるために必要な加入期間を満たしているかたにお知らせするものです。

なお、「年金加入記録のお知らせ」が届かなかったかたについては、年金の受給資格がないということではありません。

年金を受けられる年齢に達し、年金の請求をする手続きをする際に、年金加入記録を確認することになります。

年金加入記録が確認できたかたで、年金見込額の送付を希望されるかたには、同封の確認はがきを返送していただくことにより、後日、「年金見込額のお知らせ」をお送りします。

年金額の確認および年金の手続きについての問い合わせ先

福井社会保険事務所(福井厚生年金会館裏)

☎ 0776-23-1002

福井年金相談センター(福井放送会館6階)

☎ 0776-21-4165

国民年金、国民健康保険に関する問合せ先

市民生活課 国保年金グループまで ☎ 88-1111(内線257)

市では、8月1日から、インターネットを使った公共施設の予約状況確認や予約申請ができるシステムを稼動します。

これにより、自宅などに

あるパソコンから施設の利用予約が可能になり、これまで教育福祉会館や市民会館に申請書を提出していた手間が省けます。ぜひご利用ください。

ただし、体育施設は従来どおりの申請書での予約申請が必要です。

(左表参照)

対象となる公共施設

施設名	○…可能	×…不可
予約申請入力	予約状況確認	
市民会館	○	○
教育福祉会館	○	○
市営体育館、勤労者体育館、B&G体育館、林業者体育館	×	○



インターネット施設予約状況確認画面

① 予約申請の入力には 一ロとパスワードが必要です

予約申請の画面(図)を操作するた

めには、市が発行する一ロとパスワードの取得が必要です。すでに社会教育

活動、福祉活動、体育活動を行う団体として登録されている団体については、7月中に説明会を開催し、希望する団体には一ロとパスワードを発行します。

問 総務課 (内線238)



③ インターネット予約による 申請期間の制限について

インターネット予約の場合、当日の予約申請はできません。申請日の翌日から6か月先の月末までの予約申請が可能です。

それ以外の団体でインターネット予約申請を希望される場合は、各施設に直接お申し込みください。なお、施設の予約状況確認は一ロとパスワードがなくてもインターネットに接続されたパソコンから可能です。

② 従来の申請書での 予約について

従来の申請書での予約は、次の場合を除いて原則廃止とします。

- ①個人で施設を利用する場合
- ②利益を目的とした集会の場合
- ③登録をした団体でも、参加費などを徴収する場合
- ④体育施設の利用申請をする場合

7・8月の健康診断

胸部レントゲン 200円／基本健診 1,300円／
胃がん 900円／大腸がん(事前申込必要) 500円
子宮がん 600円／乳がん 300円
マンモグラフィー 700円

問 健康長寿課(内線515)

健診日	会場	受付時間	胸部レントゲン	基本健診	胃・大腸がん	子宮・乳がん	
7月21日(水)	教育福祉会館	AM 8:00～11:00	●	●	●		
		PM 1:30～2:20	●	●		●	
		AM 8:00～11:00	●	●	●		
		PM 1:30～2:20	●	●		●	
8月 2日(月)		AM 8:30～10:30	●	●	●		
		PM 1:30～2:20				●	
8月19日(木)							

勝山市職員採用試験の案内

平成16年度勝山市職員採用候補者試験を次のとおり実施します。

試験区分と採用予定人員▼

一般職

◆消防

1人

※採用予定人員は変更になる場合があります。

受験資格▼◎下記のとおり。

受付期間▼7月21日(水)～8月20日

(金)午前8時30分～午後5時15分(土・日曜日は除く)

申込方法▼市役所交付の「試験申込書」に必要事項を記入のうえ、秘書・広報課へ提出してください。

郵便で「試験申込書」を請求する場合は、封筒の表に「職員採用試験申込書請求」と朱書きしてください。その際、返信用封筒(120円切手を貼った角2号封筒[33cm×24cm])を必ず同封してください。

第一次試験日▼8月19日(日)
午前の時から

ところ▼教育福祉会館

内容▼教養試験(公務員として必要な知識についての択一式の筆記試験)

※第2次試験については、第1次試験合格者に対して通知します。

申・問
〒911-8550 勝山市

元町1丁目1-1 勝山市市長公室秘書・広報課職員グループ(☎内線216)



試験区分および採用予定人員

試験区分	採用予定人員	受験資格、要件(学歴は問わない)		性別
		資格、免許等	生年月日	
消防	1人	普通自動車運転免許を有する者または平成17年3月31日までにその免許の取得が見込まれている者	(下記の期間に生まれた者) 昭和51年4月2日 ～ 昭和62年4月1日	男女を問わない

*成年被後見人、被保佐人、そのほか欠格事項に該当するかたは受験できません。

国民文化祭・ふくい2005 News

来年の秋、「第20回国民文化祭・ふくい2005」が福井県で開催されます。国民文化祭は、全国各地でさまざまな文化活動を行っている人々が、発表し交流する文化の祭典です。勝山市では2つのフェスティバルを企画しており、今月からこのコーナーで紹介をしていきます。

25日(日)には脚本家の横山由和氏が来勝され、市民会館で公開練習が行われますので、ぜひご見学ください。6日(土)には本格的な練習も始まっています。7月24日(土)、恐竜ミュージカルを11月すでに本格的な練習も始まっています。

近況報告

恐竜文化フェスティバル

勝山を代表する恐竜をテーマに次の3つの催しを行います。

- ①恐竜児童文学
- ②恐竜ミュージカル
- ③恐竜イベント

ーー文化フェスティバル

ーーを使った地域づくりに挑戦する人材育成をめざし、次の3つの催しを行います。

- ①ーー甲子園(全国から選抜された高校生が、勝山に滞在しホームページの制作を行います。)
- ②ーー教育フェア(学校教育でのーー活用の教材や実践の発表)
- ③ーーセミナー(画像・映像・音楽等の講習会)



公募された出演者による台本の読み合わせ風景

※ボランティア募集※

恐竜ミュージカルプレ大会でのボランティアスタッフを募集しています。照明や音響など技術的なものから、受付や会場整理まで、興味のあるかたはご連絡ください。

ボランティア説明会

とき 8月3日(火)午後7時
ところ 教育福祉会館

問 文化課(☎内線471)

HOT・話題

ボランティアと

ともに競う



パンくい競争を楽しむ選手ら



誰もが簡単に楽しめるアルティメット競技



たくさんの野菜や民芸品が並ぶ土曜夕市

問合せ先

勝山観光協会 (☎87-1245)

第39回勝山市身体障害者スポーツ大会が7月3日、九頭龍ワークショップ体育館を会場に開催されました。開会式であいさつに立った山岸市長が手話を披露すると緊張していた会場の雰囲気が一気に和みました。

競技では、市内一円から集まつた在宅障害者とワーカーショップの入所生ら約400人が紅白に分かれ、熱戦を繰り広げました。

また、ボランティアとして参加した村岡・三室小学校の福祉クラブの生徒と手話サークルのメンバーが手話コーラス「世界に一つだけの花」を披露すると参加者が暖かい拍手が沸きあがっていました。

フリスビーを使ったスポーツ「アルティメット」を楽しむ市国際交流サロンが、7月2日、長尾山総合公園で開かれました。「アルティメット」は、アメリカでは人気のあるスポーツの一つで、フリスビーをパスでつなぎながら相手のゴールをめざすものです。ちょうどアメリカンフットボールのルールを簡単にしたようなゲームです。

当日は、市内の家族連れや外国人10名が参加。市国際交流員のハドソン・ハミルトンから、フリスビーの投げ方やルールの説明を受けたあと、さっそくプレー開始。簡単なルールなので参加者はすぐにゲームになじみ、元気いっぱいに体を動かしていました。

6月19日から毎週土曜日の午後3時から5時まで、本町通りの勝山市民活動センター周辺で「かつやま土曜夕市」が開かれています。本町通りでは昭和初期に、野菜を販売する市が開かれにぎわっていたこともあります。土曜夕市はその“復活版”だといふことです。市内の個人やグループが出店している夕市には、農産物やじぎき帽子の人形、左義長つまりに使う三味線のミニチュアなどの民芸品などがならび、お田畠での品を求めてたくさんのお買い物客が訪れてしています。夕市への出店を受け付けていますのでお問い合わせください。

アメリカで人気のスポーツ “アルティメット”を体験

“かつやま土曜夕市”に いらっしゃい！